



夢に生きたい

Takeokadai High School

進路指導部 第 1 号

発行日 R6. 4. 25 (木)

新学年がスタート！～夢を抱き、夢に向かって努力する武台生へ～

いよいよ令和6年度がスタートしました。自らの将来とそのための進路実現に向けて、「**今年度こそは頑張ろう！**」と決意を新たにしている人も多いのではないのでしょうか。

さて、新たな学年のスタートにおいて大事なことは、まずは**しっかりと目標を立てること**。

このとき、卒業後を見据えた“**長期目標**”と、「次の考査までに」「夏休みまでに」など期間を区切った“**短期目標**”を立てることをお勧めします。進路実現のために「今」なすべきことを明確にし、**具体的な取り組みを継続**できるようになりましょう。

そうした一つ一つの**努力**の積み重ねが、確かな**学力**に繋がります。進路を実現するのは“**自分自身**”であるという自覚を持って、日々の学習に励んでください。



1・2年生

1年生は中学校までに比べ、勉強のレベルもアップします。高校生としての学習スタイルを身に付けるためにも、授業を中心とした学習ポイントをおさえておきましょう。2年生は、文理選択に応じて授業内容も大きくレベルアップします。スムーズなスタートダッシュを切るために学習スタイルのポイントをおさえておきましょう。成績がよかった人（成績◎）のデータを抜粋して載せていますので、参考にしてください。

Point 1: 帰宅後学習を開始する時間を決めよう

1年生

選択肢	成績◎
帰宅後すぐ	21. 4%
夕食をとってから	27. 5%
寝る前	13. 4%
翌朝起きてから	1. 7%

2年生

選択肢	成績◎
帰宅後すぐ	13. 0%
夕食をとってから	38. 6%
寝る前	18. 7%
翌朝起きてから	2. 1%



成績◎の6～7割が**授業中心の学習**を心掛けるためにも**平日の学習時間を確保**し、**予習の時間を定着**させていると答えています。成績アップのためにも学習開始時間を決めて、学習の習慣化を図りましょう。

Point 2: 宿題には必ず取り組み、授業の復習を心掛けよう

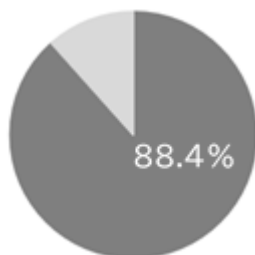
	国語	数学	英語
1年生	95. 9%	95. 7%	95. 8%
2年生	93. 5%	94. 2%	93. 8%



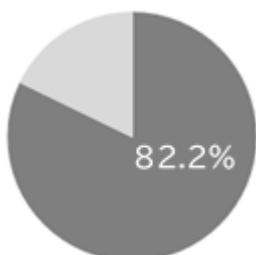
成績アップのヒントとなる学習スタイルは「**授業の復習の為にも必ず宿題に取り組む**」です。成績◎の9割以上が宿題に必ず取り組み、授業の復習を心掛けていると答えています。まずは宿題に必ず取り組み、学校での授業や復習を大切にしましょう。

Point 3: 授業での不明点は放置せずに解決しよう

1年生



2年生



成績◎の8割以上が必ず不明点を解消しています。理由は不明点を放置することは、今後の学習にも影響を及ぼすからです。**授業だけでなく、宿題でも不明点がある場合は、必ず解決するようにしましょう。**

データは、2023 年度スタディーサポート第1回「学習状況」リサーチ
全国集計結果より。「成績◎」は GTZ（学力）：S1～S3（難関大合格レベル）の生徒の平均回答率です。

※「GTZ（学力）」は、学力の到達度を S1～D3 の 15 段階の大学群で表示したものです。

3年生 「受験は団体戦」！！学習する雰囲気を作っていこう



すべてが「高校生活最後の〇〇」となっていくのが3年生。盛り上がる時は大いに盛り上がり、授業は授業でしっかりと集中しましょう。クラス全員で協力してメリハリのあつ雰囲気・環境を作り、限られた時間を最大限に活用しましょう。

また、スタディーサポートや「学習の軌跡」を活用して、時間の使い方や学習の仕方を見直してみることも必要です。自分の得意・不得意をきちんと把握し、志望校の受験科目や配点、過去問も念頭に置いて、進路実現につながる力を蓄えていきましょう。

3年生の進路実現への3つの鍵

①最後までやりきる
[受験も部活動も粘り強く！]

②全員で頑張る
[自習も行事も必死に！]

③勝負できる科目を作る
[文系は英語、理系は数理英]

学習の「量」と「質」の向上を目指そう！～「学習の軌跡」の活用を～

各教室や職員室の入り口にある掲示を確認しましたか？これらは進路実現のために意識して欲しい「**自宅学習時間の目標**」です。具体的な数字は以下の通りです。

	1年生		2年生		3年生	
	部活生	部活生以外	部活生	部活生以外	部活生	部活生以外
平日	2.5時間	3時間	3時間	3.5時間	3.5時間	5時間
休日	4時間	5時間	5時間	6時間	6時間	10時間
週	20時間	25時間	25時間	28時間	28時間	40時間



登下校に時間がかかる人や、放課後も休日も部活動に励む人が多いのが武台生です。帰宅後や朝の限られた時間をやりくりして学習に取り組まなくてはならず、ちょっと気を緩めてしまえば、すぐに学習時間が足りなくなってしまう。

だからこそ、一人一人が「**毎日これだけの時間を確保するんだ！**」という意識を持つことが欠かせません。1日単位での確保が難しいければ、1週間の中で調整するという方法もあります。「**学習の軌跡**」を活用して自分の学習状況をきちんと把握しながら目標達成を目指しましょう。また、「**準備の時間**」に主体的に取り組むことにより、隙間時間の有効活用も心掛けてみましょう。

学習は時間が長ければそれでよいというものではありません。しかし、ある程度の時間をかけなければ、必要最低限のことさえやりきれず、内容も深まっていけないというのも事実です。受験直前になって急に学習時間を増やそうと思っても、学習する習慣や集中力のない人は確実に苦勞します。

学習の「量」と「質」。どちらも向上させて、学力とともに、受験を乗り切るための「**体力**」＝「**忍耐力**」を身に付けていきましょう。

休日、どこで勉強しますか？～あなたは自宅派？学校派？～

休日の部活動前の午前中や練習後の夕方など、“登校したついでに”勉強も進めてしまえば一石二鳥です。意識的に自分が**学習しやすい環境に身を置く**ことは、集中して取り組むための第一歩。休日学校をどんどん利用してください。

休日の学校利用のきまり

【時間】 8：30～**16:20**

【教室】 1・2年生＝**大会議室**（冷暖房○・昼食時の飲食○）

3年生＝**講義室**（冷暖房○・飲食×）または**自分のクラス**（冷暖房×・昼食時の飲食○）

※鍵は**事務室**で借りること。→貸出簿に使用教室・使用開始時間・生徒氏名を記入

※使用後の消灯・施錠・鍵の返却は確実に。

